

補助事業番号 21-01-022

補助事業名 平成 21 年度生活習慣病の一次予防としての肥満対策のための調査研究補助事業

補助事業者名 財団法人 国際医学情報センター

1. 補助事業の概要

(1) 事業の目的

ヘルスセンサからインターネットを經由して生活習慣モニタリングを実施することを中心として、これに連動して実施される健康管理・健康指導活動とによって、住民個人の健康意識と行動変容を促し、健康改善効果検証を検証することを目指した事業である。地域・集団における肥満予防方策の実現を図り、住民自らの肥満対策への意識変革と肥満改善効果を検証することを目的とする。

(2) 実施内容

沖縄県金武町において、肥満傾向、肥満家系を含む肥満に注意が必要な成人ボランティアのモニターを募り、体動計、体重計、血圧計や携帯電話などの通信設備を貸与・提供する。モニターは定期的にセンシングデータを「すこやかライフサポートサービス」サーバーに送りデータは保存される。保存されたデータは PC や携帯電話でいつでもグラフなどで参照出来る。異常時のコメント、改善目標値などに対する達成度も見ることが出来る。これらのデータは、協力者本人のデータであると同時に、医療施設などでも IC カードを利用して容易に参照出来、肥満治療の医療機関・かかりつけ医から、あるいは、特定健診・特定保健指導の保健師から、適切な指導やアドバイスを受けることが出来る。このシステムを改良し、肥満対策などの食事指導と、地元金武町での運用容易化を図り、肥満対策を中心とした健康管理事業への実用化試験を実施した。

住民に対して健康診断時、講演会開催時、まつりの際の展示、その他様々な機会を捉えて対象モニターを募り、当初予定していた 200 人の目標を 500 人に修整し、参加前後のアンケート、一部モニターに対する血液検査（中性脂肪、HDL、LDL、UA、血糖、HbA1c）実施などにより、肥満対策事業のフィージビリティを確認した。目標モニター数の増加に合わせて、また、住民の意向を踏まえ、PC やインターネット環境に不自由な人のためなど、町内 5 地区にある公民館や町役場・総合保健福祉センター、更に銀行のロビーなどにパブリック端末を設置し、装着型のセンサーからのデータ登録、体重・血圧測定、個人データの参照などを可能とした。

2. 予想される事業実施効果

肥満対策、肥満予防という観点から数ヶ月での成果を期待することは無理があるが、肥満傾向（BMI 25 以上）の 50 名についてみると、12 名に BMI で 0.5 ポイント以上の減少が見られこの全員がアンケート結果でも行動変容が明らかであった。住民がお互いに意識し

ながら生活習慣モニタリングを容易に継続出来ることがシステムにも事業にも重要であることが分かる。改良した食事指導ソフトウェアは、適切な運動をしているにも拘わらず、また行動変容が窺えるにも拘わらず、肥満改善・健康増進効果が見られない住民に対して、管理栄養士も交えて指導する過程で利用が始まった段階である。

フィージビリティは確認され、平成 22 年度以降、金武町での予算化が実現した。

3. 本事業により作成した印刷物等

ユーザーマニュアル

講演会開催チラシ

サービス案内ガイド

サービス紹介チラシ

公民館説明会チラシ

操作説明、プロモーション用ビデオ

4. 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 財団法人 国際医学情報センター（コクサイ イガク ジョウホウ センター）

住所： 160-0016

東京都新宿区信濃町35 信濃町煉瓦館

代表者： 理事長 相川 直樹（アイカワ ナオキ）

担当部署： 図書資料館（トショ シリョウカン）

担当者名： 担当部長 鈴木 博道（スズキ ヒロミチ）

電話番号： 03-5361-7086

F A X : 03-5361-7150

E-mail : harada_st@imic.or.jp

URL : <http://www.imic.or.jp>